

言葉の単位

1 言葉の単位

次の文章を読んで、あと
の問いに答えなさい。

よだかは、実にみにくい鳥です。

顔は、ところどころ、みそをつけたよ
うにまだらで、くちばしはひらたくて、
耳までさけています。

足は、まるでよぼよぼで、*一閃とも歩
けません。

ほかの鳥は、もう、よだかの顔を見た
だけでも、いやになってしまうというぐ
あいでした。

たとえば、ひばりも、あまり美しい鳥
ではありませんが、よだかよりは、ずつ
と上だと思っていましたので、夕方など、
よだかにあうと、さもさもいやそうに、
しんねりと目をつぶりながら、首をそつ
ぽへ向けるのでした。もつとちいさなお
しゃべりの鳥などは、いつでもよだかの
まっこうから悪口をしました。

(宮沢賢治「よだかの星」から)

*一閃＝約一・八メートル。

(1) 右の文章は、①いくつかの段落、②い
くつの文でできていますか。それぞれ
漢数字で答えなさい。

①

②

7×2

(2) 「よだかは、実にみにくい鳥です。」

は、①いくつかの文節、②いくつかの単語
でできていますか。それぞれ漢数字で
書きなさい。

①

②

7×2

2 文節

次のそれぞれの文を、〈例〉に
ならって、文節に分けなさい。

〈例〉日が昇る。↓日のほが昇る。

① 大きな音がした。

② 雨も小降りになった。

③ 先生が黒板に字を書く。

④ 急いで外へ出ていった。

⑤ ネコが首をかしげている。

⑥ ひまだったので、遠回り
して家まで帰った。

6×6

3 単語

次のそれぞれの文を、〈例〉に
ならって、単語に分けなさい。

〈例〉日が昇る。↓日が昇る。

① 目を丸くする。

② 馬がわらを食べる。

③ 手を頭の後ろで組む。

④ 紫色の花が咲き乱れる。

⑤ あれが私たちの学校です。

⑥ 汽車はゆっくり駅を出て
ゆきました。

6×6

1
文法

解答解説

言葉の単位

解答

↓解説

- 1 (1) ①五 ②六
(2) ①四 ②六

2 ① 大きな音が一した。

② 雨も小降りになつた。

③ 先生が黒板に字を書く。

④ 急いで外へ出た。

⑤ ネコが首をかしげている。

⑥ ひまだつたので、遠回りして家で帰った。

3

① 目を丸くする。

② 馬がわらを食べる。

③ 手を頭の後ろで組む。

④ 紫色の花が咲き乱れる。

⑤ あれが私たちが学校です。

⑥ 汽車はゆつくり駅を出てゆきました。

1 (1) ①段落の数は、一字分下げて書かれているところがいくつあるかを数えればよい。②文の数は、句点(。)の数を数えればよい。ただし、句点の代わりに、?や!が使われることもある。

(2) ①文節は、「ネ」や「サ」を入れて区切つてみる。また、一文節には一つの自立語というのが原則なので、それを目安に分けるのもよい。自立語に付属語がいくつについても一文節である。②単語分けは、まず文節に区切り、そのうえで、自立語と付属語とに分ける。付属語が二つ以上ある場合も多いので注意しよう。

2

② 「小降り」は「小」と「降り」に分けないように。「小降り」で一単語である。⑥の「遠回りし」もこれで一単語。

⑥ 「ひまだつたので」は「ひまだつたので」と三つの単語できているが、これで一文節。

3

① 目(名詞)を(格助詞)丸く(形容詞)する(動詞)。

② 馬(名詞)が(格助詞)わら(名詞)を(格助詞)食べる(動詞)。

③ 手(名詞)を(格助詞)頭(名詞)の(格助詞)後ろ(名詞)で(格助詞)組む(動詞)。

④ 紫色(名詞)の(格助詞)花(名詞)が(格助詞)咲き乱れる(動詞)。

⑤ あれ(名詞)が(格助詞)私たち(名詞)の(格助詞)学校(名詞)です(助動詞)。

⑥ 汽車(名詞)は(副助詞)ゆつくり(副詞)駅(名詞)を(格助詞)出(動詞)て(接続助詞)ゆき(動詞)まし(助動詞)た(助動詞)。